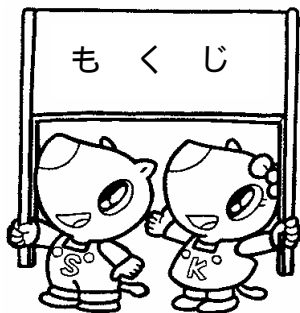


2006.7 第36号

さいきょうベンチャーレポート

P3.4.5 ステムセルサイエンス(株)
中島社長



- 2. 投資先紹介 ステムセルサイエンス株式会社
- 5. 井上弁理士の知財小話
- 6. 情報コーナー
- 7. コラム：IM日記



「さいきょうベンチャーレポート」は、株式会社エス・ケイ・ベンチャーズが毎月お届けするベンチャー企業情報誌です。

投資先紹介



ステムセルサイエンス株式会社（兵庫県）

“再生医療で人類のQOLの向上に貢献する”

今回のS K V投資先紹介の企業は、ヒト体性幹細胞及び胚性幹細胞（ES細胞）を用いた再生医療の研究開発型企業である、兵庫県のステムセルサイエンス株式会社です。



中島憲三社長

に関りのあった日本の株式会社そーせい（そーせい）と協力を得て当社を2002年4月5日に神戸に設立しました。



創業の経緯を教えてください。

オーストラリアの Stem Cell Sciences Limited (SCS Ltd) は、そのグローバル戦略として動物の発生・分化に関する研究において世界的に著名な研究機関と共同研究を行い再生医療の実現のために必要な基盤的技術を集積して21世紀における医療であると考えられている再生医療を現実的なものとするを考えていました。当該戦略に沿って、オーストラリアではモナーシュ大学と又英国ではエジンバラ大学の幹細胞研究所と共同研究を既に行っていました。そこで、日本における前記分野での研究において世界的に著名な理研とも是非共同研究を行いたいと考えていました。理研と共同研究を行うには、日本で現地法人を設立して、当該日本の現地法人が理研と直接共同研究を行う方がSCS Ltd がオーストラリアから理研との共同研究を行うよりベターであると考え、その時点で既

また、そーせいは、その時点で既にバイオベンチャーとして将来IPOをすることを考えていましたが、残念ながらその時点で日本にはバイオの市場は殆どなく、従って、そーせいがバイオの分野で成功するには日本でのバイオのマーケットそのものの拡大が不可欠であるとの考えから、バイオのマーケットに参入しようとする企業があればこれを可能な限り積極的に支援すべきであると考えていましたので、両社の思惑が一致して当社を設立することとなりました。従って、現在においても当社と理研との共同研究は継続しています。

どのようなことをされている会社ですか？

当社は、研究開発型のバイオベンチャーで、細胞を利用してヒトの失われた組織や機能を回復することを目指した再生医療をその事業の中核として推進している会社です。現在、この再

生医療分野での当社の研究開発プロジェクトは2つあります。

第1番目のプロジェクトは、糖尿病治療のための血糖値に反応してインスリンを分泌することのできる膵島細胞の作成研究です。糖尿病は、膵臓に存在する膵島細胞からインスリンが十分に分泌されなくなることにより起きる病気です。従って、現在の治療法としては、インスリンを注射によって補充することが主要な対処法となっていますが、これはあくまでも対症療法であり、糖尿病の根本治療となるものではありません。また、最近では膵島移植による糖尿病の治療も行なわれていますが、移植に使用される膵島は脳死者から採取されることから、ドナーの確保が問題となっています。当社が目指している再生医療は、膵島に分化することのできる幹細胞を体外で大量に培養し、その幹細胞を糖尿病患者に移植し、移植した当該幹細胞が糖尿病患者の体内において膵島細胞に分化しインスリンを分泌することができるようにしようというものです。従って、これは糖尿病の根本的な治療となり、この治療を受けた糖尿病患者はインスリン注射が不要となります。



第2番目のプロジェクトは、子供の脂肪組織の中に存在する多能性幹細胞を利用して、心筋梗塞、脳梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症、各種筋疾患、骨・軟骨疾患等の治療を行おうというものです。当該多能性幹細胞は、体外において非常に良く増殖し且つ体内に移植した場合に筋細

胞、骨及び軟骨細胞、脂肪細胞、血管内皮細胞等に分化することが知られています。現在、当社はこの多能性幹細胞を利用してディシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）の治療を行うための研究開発を精力的に行っています。DMDは、男児3500人に1人の割合で発症する致死性の高い病気で、現在有効な治療法は存在せず、殆どの患者は20歳位までに死亡してしまいます。DMDの患者においては、健常人の筋細胞を産生することができるジストロフィンと言う蛋白質を十分に産生することができません。従って、ジストロフィンを産生することができる健常人の筋細胞を移植して治療しようと言うのが当社の研究プロジェクトです。一般的に、他人の細胞を患者に移植した場合、移植された細胞は患者の体内で免疫拒絶反応を受けて生着しません。しかし、前記の脂肪組織由来の多能性幹細胞は、移植した後に筋細胞に分化するだけでなく、免疫拒絶反応を起こさないという優れた特徴を有しています。この免疫拒絶反応を起こさないという特性と前記の様な各種の細胞に分化することができるという特性を利用することで、DMDのみならず、心筋梗塞、脳梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症、骨・軟骨疾患、各種筋疾患等の治療が可能であると考えています。

再生医療とは何でしょうか？

再生医療、特に当社が目指している再生医療は、細胞を利用してヒトの失われた組織や機能を回復することです。

御社の特色を教えてください。

細胞を利用した再生医療の実現を、真剣に目指している研究開発型の本格的なバイオベンチャーです。

他のバイオベンチャーとの違いはどこかと思われませんか？

当社が再生医療において目指している対象疾患は、体の表面部分（例えば、皮膚、目、歯等）において問題となっている疾患ではなく、体の

内部においてその機能が失われているような疾患を細胞の利用により根本的治療をするという点において、創薬系バイオベンチャーや研究開発支援型バイオベンチャー等の他の多くのバイオベンチャーとは異なります。

海外にもネットワークをお持ちと伺いましたが、

はい。オーストラリア、英国及び米国に関連会社が存在します。また、フランスのニース大学とは共同研究を行うこととなっています。

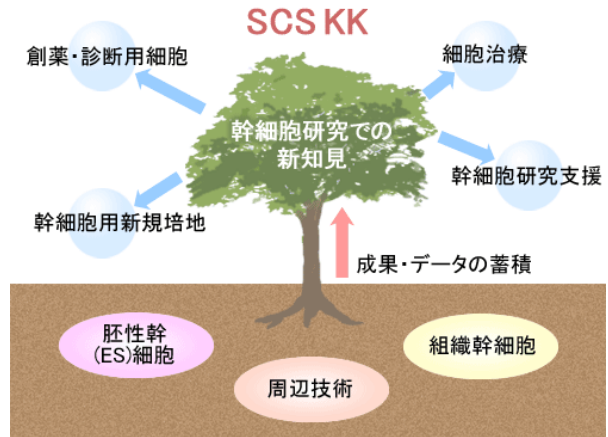
今後の展開・展望を教えてください。

脂肪組織由来幹細胞を利用するDMD患者での臨床試験を、来年央に米国で開始すること及び膵島細胞に分化可能な体性幹細胞を利用しての糖尿病患者での臨床試験を2008年に開始し、2007年の株式上場を予定通りに行うことですね。

最後に一言お願いします。

当社の最大の目的は、現在有効な治療法もない疾病に苦しめられている多くの患者に1日でも早く再生医療による根本的な治療法を提供し、社会に貢献することです。

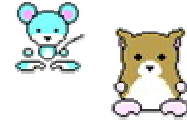
ありがとうございました。



(会社概要)

| | |
|--------|---|
| 商号 | ステムセルサイエンス株式会社 |
| 主な事業内容 | 再生医療用各種細胞の製造・販売 研究用各種動物及びヒト細胞の製造・販売 胚性幹細胞増殖用無血清培地の製造・販売 各種機能性細胞の作成受託等 |
| 本社 | 〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町5丁目5番2号 神戸国際ビジネスセンター（KIBC）6階 |
| 電話番号 | TEL 078-306-0381 FAX 078-306-0382 |
| URL | http://www.scskk.com |
| 設立 | 平成14年4月5日 |
| 資本金 | 735,000 千円（5月末現在） |
| 代表者 | 代表取締役社長 中島 憲三 |
| 従業員数 | 33名 |
| 関連企業 | Stem Cell Sciences Ltd. / Stem Cell Sciences UK Ltd. 所在地：オーストラリア メルボルン / イギリス エジンバラ URL： http://www.stemcellsciencesltd.com/ 株式会社 そーせい / そーせいコンサルティング 所在地：東京都千代田区一番町8番地一番町F Sビル4階 TEL：03-5210-3290(代) URL： http://www.sosei.com/ |

弁理士：井上浩の知財小話



当事務所HP (<http://www.iipi.jp/>)では特許にまつわる様々な情報をお届けしています。出来るだけ最新の情報を！と、日々更新中です。是非お越し下さい。

地域ブランド@山口発

もう7月、梅雨が過ぎれば暑い夏も間近です。

さて、今回は「地域団体商標制度」についてお話します。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、この4月からスタートした新しい制度です。一定の要件を満たす団体は、「地名+商品・役務(サービス)名」といった商標を登録できるようになりました。例えば、「萩焼」や「徳佐りんご」、さらには「湯田温泉」などの商標が考えられます。この制度を活用して、山口の特産品や地域ブランドを全国区へ押し上げることも夢ではありません。

地域団体商標出願を出願できるのは、法人格を有している、事業共同組合など特別法が定めた組合などでかつ、構成員資格者の加入の自由が保障されている団体です。

また商標に含む地域と商品・サービスの間密接な関連性が必要で、具体的には、その地域が商品の産地、役務の提供場所、製法が由来している、主要な原材料の生産される地域などの関係です。この他にもある程度の周知性などの要件がありますので詳細は特許庁のホームページをご覧ください。(<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>)

この制度は、地域ブランドを適切に保護することで、事業者の信用の維持を図り、産業競争力の強化と地域経済の活性化を支援することを目的としています。海の幸、山の幸、そして豊かな自然に恵まれた山口県。「21世紀のエジソン」とともに、「地域ブランド@山口発」が全国的に注目を集め、ひいては地元経済の活性化につながることを、梅雨の合間の星空を見上げては願う今日この頃です。

(維新国際特許事務所)

〒753-0077 山口市熊野町 1-10 NPYビル8F

TEL:083-901-2233 FAX:083-901-2266

<http://www.iipi.jp>

21世紀の
エジソンを
山口から

【県内初】

宇部市研究開発・技術開発補助事業資金貸付制度

創設について

宇部市では、「宇部市研究開発・技術開発補助事業資金貸付制度」を創設しました。

この制度は、国や県及び公的機関の補助金交付決定を受けた市内中小企業者に対して、研究開発事業の当初資金を宇部市が無利子で短期貸付けすることにより、研究開発に伴う金融負担を軽減し、新技術・新製品開発、新事業の創出を促進するものです。

今回、下記のとおり「宇部市研究開発・技術開発補助事業資金貸付制度」を利用される中小企業者の募集を開始します。

対象者 国、県及び公的機関が実施する研究開発・新事業創出を目的とした補助事業の交付決定を受けた市内中小企業者

貸付条件

限度額：補助金交付決定額の範囲内で 500 万円以内

期間：1 年以内 利率：無利子 担保・保証人：不要

お問合せ先：宇部市工業振興課（宇部市役所 3 階） T E L 0836-34-8360

H P : <http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kougyou/>

平成18年度 グリーン物流パートナーシップ推進事業

（モデル事業、普及事業）の募集について = 経済産業省 =

京都議定書が発行して1年が経過しましたが、運輸部門における現状のCO2排出量は削減目標との間にまだ隔たりがあり、実行ある温暖化対策が急務となっています。

物流部門の温暖化対策は、荷主企業、物流事業者それぞれの単独による取り組みだけでなく、それぞれが互いに知恵を出し合い連携・協働すること（パートナーシップ）による、物流システムの改善に向けた先進的で産業横断的な取り組みが必要です。「グリーン物流パートナーシップ会議」では、荷主と物流事業者の協働によるそうした取り組みを支援し、普及・拡大を促進するものであり、各企業の積極的な参加を期待しています。

補助制度 グリーン物流パートナーシップ会議でモデル事業・普及事業に選定されると、参加している企業等は経済産業省の補助制度「グリーン物流パートナーシップモデル事業費補助金」やNEDO技術開発機構の補助制度を利用することが出来ます。

募集期間 平成18年5月16日（火）～平成18年7月14日（金）

提案方法 以下のHPに掲載してある、所定の様式に従い、申請資料を作成下さい。

詳しくは <http://www.meti.go.jp/press/20060516004/20060516004.html> をご覧下さい。

お問合せ先：中国経済産業局産業振興課 流通・サービス・商業室

T E L : 082-224-5653

～人材派遣・紹介業への期待～

「世界を動かす中国」

社会科が好きだった私が中学時代に読んだ本のタイトル名だ。

世界一の人口、東アジアの国土面積、揚子江、黄河等広大な河川～何をとっても大きく果てしない可能性を秘めた国。

当時は毛沢東が国家主席でその下で後継を争う形になった4人、所謂、朱徳、林彪、周恩来、劉少奇、偉大な4人で互いが人後に落ちないスリリングな展開を見せたようだが、結局短命とは言え毛沢東の後国家主席に納まったのは劉少奇だった。

が、しかし、国際史上でも名宰相、人格者と謳われ、あの田中角栄首相との国交回復の時～杯を交わした瞬間の重厳な風格が印象的な周恩来首相に何故か一番惹かれる。

さて、近時前向きな話題で中国の話題を耳にする事が多い。

弊社の取引先で中国から日本に来る留学生を斡旋する会社の方も最近多忙を極めているが、その社長さんによると、中国人は向学心が非常に強くそのための努力だったら惜しまないという。

国の発展の為日本に行き日本の先進たる部分を学んで来て還元したい、そんな想いがあるという。

先日地場の上場会社の役員の方とお話しする機会があったが、「素材産業の機械設備の展示会で欧州をまわったが、中国、インドのメーカーの売込みは非常に熱意に満ち溢れ印象的だったが、日本のセールスマンは同じ会場で涼しい顔をしており、危機感を持った」との事であった。

地元の高等専門学校の先生が言っておられた。「現状では日本の学生は理系離れに歯止めがかからない。」(但し、この地元高専は歯止めをかけることに努力しておられる)そして前述の社長さんによると、逆に中国の学生は文系志望より理工系志望の方が多そうだ。IT産業が注目を浴びるようになって久しいが、日本は地方はもとより東京でもその産業の心臓部を支えるSE(システムエンジニア)、PG(プログラマー)はかなり不足しているそうである。一方中国、インドは高度なSE、PGが多数存在しているらしい。

人・物・金と言う言い回しがある。これまで、必要とされる物を産み出し必要とする所へ供給してきた製造販売業、お金のある所から無い所へ融通してきた銀行業が(紆余曲折はあったにしろ)絶対的な地位を築いて来たように、人材のある所から無い所へ融通をするグローバルな人材派遣紹介業も、絶対的に必要とされる地位を築きつつあるのかも知れない。



さいきょう 2006 夏のおすすり定期

お取扱期間：平成18年6月5日(月)～平成18年8月18日(金)

満期日繰上特約付定期預金 **さいきょう**
バルーン定期

3年繰上満期特約付
6年満期

当初3年間
年1.25%

4年目以降
年1.5%
(繰上満期年1.2%)

あなたの大切な資産を活かし、
理想の未来へ届けます。

ステップアップ好金利
安心の円定期預金
預金保険の対象

平成18年6月5日現在の適用金利です。適用金利は期間中に見直す場合がございます。

さいきょうドリームステーション | フリーコール：0120-24-0606 (受付時間：平日 10:00～17:00)
HP：http://www.saikyobank.co.jp

あなたのあしたに
西京銀行

—お知らせ—

編集部では、「さいきょうベンチャーレポート」に掲載させて頂ける企業を募集しています。

「取材に来て欲しい！」

「自分の会社も載せたい！」

「この商品をアピールしたい！」

と思われましたら、ぜひ編集部までご連絡下さい。

たくさんのご応募お待ちしております♪

また、記事へのご意見、ご感想もお寄せ下さいませ。

私たちはこれからも、より良い紙面作りを目指していきます。



掲載企業へのお問い合わせも株式会社エス・ケイ・ベンチャーズ
にお気軽にご連絡下さい。

「さいきょうベンチャーレポート」第36号

平成18年7月1日発行

発行元：株式会社エス・ケイ・ベンチャーズ

〒745-0015 周南市平和通1丁目11の2

TEL0834-33-2661 FAX0834-33-2662

毎月1日発行